

平成 25 年度自動車利用適正化対策の実施結果

① シャトルバスの運行 **【斜里バス】**

- マイカー規制期間と自由利用期間（中・大型車両は規制）に分け、下表のとおり
の運用を実施した。（規制根拠は道路交通法第 4 条による公安委員会の交通規制）
- 斜里バスにより運行され、11,066 人（前年比 123%）が利用した。

期間区分 / 車種区分	道道開通日 (7/1) ~ 7/31	8/1 ~ 8/25	8/26 ~ 9/14	9/15 ~ 9/24	9/25~11/2
	自由利用 期 間	マイカー 規制期間	自由利用 期 間	マイカー 規制期間	自由利用 期 間
シャトルバス ※1	× 【運行せず】	○	× 【運行せず】	○	× 【運行せず】
中・大型自動車 ※2	×	×	×	×	×
普通自動車 ※3 自動二輪車(バイク)	○	×	○	×	○
自 転 車 徒 歩	○	○	○	○	○

※1 自然センター―カムイワッカ往復大人 1,300 円・子供 650 円、ウトローカムイワッカ
往復大人 1,960 円・子供 980 円

※2 定員 11 人以上。営業用大型車両（貸切バス、路線バス等）を含む。

※3 普通自動車には、営業用車両（タクシー、ハイヤー等）を含む。

② マイカー規制・通行許可申請関係

- マイカー規制期間における通行許可を希望する関係者の申請書を取りまとめ、斜里
警察署に提出するとともに、許可証とあわせて通行許可車両確認書（協議会発行）
を各者に送付した。**【環境省】**
- マイカー規制前日の車両追出しを行った。**【環境省・知床財団・斜里町・ウトロ駐在
所】**

③ 広報活動

- 本対策の周知を図るため、交通情報センターへ放送の依頼を行った。
- チラシ 60,000 枚を作成し **【環境省：原稿作成、北海道：印刷】**、道内の道の駅、キ
ャンプ場、レンタカー事業者、道内外のカーフェリー事業者等に配布した **【環境省】**。
- 国道・道道沿いに道路管理者協力のもと、マイカー規制期間中等の告知看板の設置

し【環境省】、電光掲示版（国道 334 号：ウトロ、知布泊、峰浜、豊倉 道道知床公園線：ホロボツ）の運用を行った【環境省】。

- ・知床斜里町観光協会より提供される知床五湖駐車場の渋滞情報に基づき、知床世界遺産センター、知床自然センター、観光案内所、バスチケット販売所、道の駅等の利用拠点において、情報提供を行った。

④ 現地管理連絡調整等業務 【協議会予算での委託業務】

- ・本対策を円滑かつ適正に実施するため、現地管理連絡調整業務（無線による定時連絡、渋滞情報等の情報収集業務等）を（公財）知床財団に委託し、カムイワッカ、知床自然センター前駐車場及び知床五湖等の現場との連絡、自動車利用適正化対策実施状況の情報収集、トラブル等発生時の連絡調整及び現場への指示、対応、関係機関への連絡等を行った。
- ・マイカー規制期間中のトラブルは以下の通り。
 - ・ 8 月 17 日：最終バスに乗り遅れた登山客がいるとオホーツク総合振興局が派遣した硫黄山登山道管理員（以下、管理員）より知床五湖 FH に無線が入る。登山者は計 4 名で、管理員の車には乗りきれず、知床財団職員が知床自然センターより通行許可車両を出し、登山客を搬送した。
 - ・ 9 月 20 日：数日前よりカヤックツアーで海岸沿いを航行していた 34 名のグループが、天候悪化により急遽ルシャ地域に上陸、徒歩にてカムイワッカ地区に向かっていると管理員より知床五湖 FH に日没直前に無線が入る。環境省職員の通行許可車両 2 台と当財団職員の通行許可車両 2 台を出し、ツアー客全員を搬送した。

⑤ ゲート開閉及び車両誘導業務 【協議会予算での委託業務】

- ・北海道警備株式会社に委託し、知床自然センター駐車場、知床五湖駐車場入り口及び五湖ゲートに車両誘導のための警備員を配置した。
- ・知床五湖駐車場までの渋滞状況について、情報を把握し、関係者に連絡した。（自然公園財団（知床五湖チケットハウス）→知床財団→観光協会→関係者のルートで共有）

⑥ 巡視員等の配置 【環境省・斜里町・観光協会】

- ・利用者指導、残留者の発生防止等のため、巡視員 1 名をカムイワッカに配置した。

⑦ 調査・モニタリング

- ・北海道オホーツク総合振興局網走建設管理部により、7～10 月までの期間中に、トラフィックカウンターを利用した道道知床公園線の車両カウント調査が実施された。当該期間中の一般車両の交通量は計 10,901 台（前年比 84%）であった。

- ・北海道大学（愛甲氏・庄子氏）によるカムイワッカ地区における利用シミュレーション調査、利用モニタージュ調査が実施された。